

安富 洋

東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。在学中に東京藝術大学室内楽オーディション合格。

全日本学生音楽コンクール ヴァイオリン部門で2度入賞。

リサイタル、室内楽、客演コンサートマスター、公開レッスン、コンクールの審査等で活動。

尚美ミュージックカレッジ専門学校、東京音楽大学、東京純心短期大学、東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校でヴァイオリン、オーケストラ、室内楽等の指導を行ってきた。

2015年より、ミャンマー・ナショナル・シンフォニー・オーケストラの弦楽セクションのトレーナーに抜擢され、また副指揮者としても活動する。

ヴァイオリンを東儀祐二、鷺見三郎、海野義雄、浦川宜也、岡山潔の各氏に、室内楽を原田幸一郎、ルイ・グレーラーの各氏に、指揮を汐澤安彦氏にそれぞれ師事。

CD「ヴァイオリンとピアノのためのソナタ」(モーツァルト、ベートーヴェンソナタ集)、

「ふるさと」(クライスラー小品集、日本の歌 Violin & Viola)を発表。

現在、武蔵野音楽大学非常勤講師、学校法人富山音楽学院特別講師、日本弦楽指導者協会正会員(JASTA)、日本演奏連盟会員、カルテット「間」メンバー。